

- 問い合わせ 中央公民館
TEL 32-1132 FAX 37-1153
- 編集 公民館報編集委員会
- 印刷 株式会社プラルト

発行
2022
5/30

公民館報 まつもと



シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 61

春爛漫

見上げる先には満開の桜と松本城
めぐって来た春が足取りを軽くする

シリーズ デジタル化 〈第2回〉

松本市のデジタル化

松本市では「DX・デジタル化」を総合的かつ着実に推進するため、令和3年度に「DX・デジタル化推進に関する骨太の方針」を策定しています。

骨太の方針では市民の幸福の最大化を目指し、人口の定常化につなげる「デジタルシティ・松本」のシンカを使命としています。デジタル化により市民の姿がどう変わるのかイメージできるように、6つの目指す姿(VISION)や、共有する7つの価値(VALUE)を描き、政策立案、システム構築をしていきます。

デジタルシティ

例えば、令和7年にはマイナンバーカードとスマホだけで、市役所に向かずに出発できるようなります。さらに数年後には全国の自治体のシステムの標準化が進むため、転入届も一括で処理ができるようになります。

便利なサービスが生まれる

LINEの松本市公式アカウントを立ち上げ、市政情報、観光や地域の情報、非常時の緊急情報などを発信しています。友だち登録は6万人を超えました。市民課窓口の混雑状況がリアルタイムで伝わるようにYouTubeでのライブ配信を開始しましたが、市民にはLINEでそのお知らせをしました。



従来のサービスも継続

デジタル化が進むと、デジタル機器が使える人と使えない人との間に格差が生じるデジタルデバイドという問題が発生します。そこでスマホ体験講座やインターネット講習会などを開き、デジタル機器に不慣れな方へのサポートを行います。合わせて現在の印刷物の配布や対面窓口などのサービスは継続します。今後のデジタル化の浸透度合いを確認しながら、印刷物の配布縮小時期を決めています。



わがまち自慢(新村地区)

新村地区地域学習テキスト「あたらしの郷」完成

「みなさんは新村地区のどんなことを知っていますか?」と始まる新村地区の地域学習テキスト「あたらしの郷」が、令和4年3月に完成しました。全ページフルカラーを採用し、35ページ、A4サイズのテキストです。写真と紙の材質にこだわったそうで、手に取りテキストを開くと納得します。1800部刷ったテキストはすでに新村地区全戸に配布されたほか、希望者多数により増刷したそうです。



あたらしの郷を開くと「ものぐさ太郎」が紹介されています

テキストの構想は平成30年から始まり、途中コロナ禍で中断しましたが、この度ようやく長年の思いがここに完成しました。目次を見ると「新村地区ってどんなところ?」「新村地区のあゆみは」「新村の公共施設・地域諸活動は」「新村の文化財・祭りなどは」「そのほか」となっており、新村地区の歴史から現在に至るまでが分かりやすく解説されています。テキストを監修された編集委員長の関通喜さんは「11人の編集委員の力を借り、ようやく完成しました。やさしい文章で子どもにもわかりやすいようにルビを使って、読みやすいように心がけました。また、このテキストを活用してもらうために、地区内のいろいろな場で使用してもらいたいと考えています。読み聞かせの材料として使ったり、小中学生の授業の中で活用できないか考えています。子どもたちを集めて出前講座なども良いと思います。親から子へと祖先の生き様を学んでもらいたいですね。」と熱く話してくださいました。新村地区の記録として後世に残る一冊です。

地域の皆さんこんにちは！
どうぞよろしくお願ひします！！

芳川フレッシュインタビュー

芳川に赴任してみえた皆さんにお聞きしました。



野溝保育園
瀬戸口 志穂子 園長先生

野溝保育園 瀬戸口園長先生に 聞きました！

Q 野溝保育園の印象は？
A 緑豊かで、田んぼや畑、遠くには山が見え、自然に囲まれた中で、保育ができる園です。

Q 保育園の現状は？
A 園の目標は、「友達と元氣いっぱい遊ぶ子ども」です。現在、79名の園児たちと楽しく過ごしています。

Q 地域との関係は？
A 様々な方が気にかけてくださいます。コロナ禍のため、お互いに気を遣いながらですが、本当に良い方々ばかりで、いつも保育園のことを考えてくださっています。

Q 地区の皆さんに一言
A 地域に根ざした保育園を目指しています。このような状況下ではありませんが、地域の方々との交流を大切にしながら、子ども達と一緒に育てていただきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

令和4年5月1日 現在
総世帯数 8,097世帯
総人口 17,406人
男 8,725人
女 8,681人

**芳川地区
地域づくりセンター**
☎58-2034

芳川出張所
☎58-2034

芳川公民館
☎58-2034

芳川福祉ひろば
☎57-0168

※芳川地区地域づくりセンター、芳川出張所、芳川公民館へのご連絡は同じ番号となります。

芳川地区地域づくり 坂上センター長に 聞きました！



芳川地区
地域づくりセンター長
坂上 浩美

Q 芳川地区の印象は？
A 新たな魅力を作りだす力のある地区です。

Q モデル地区の取り組みは？
A 働き世代、若い世代の地域参加促進が重点課題として、地域活動に取り組みやすくするために、芳川地域づくり協力隊を発足。現在、地区住民や大学生、高校生総勢24名のメンバーが活動中です。主な活動は2つ。

1つ目は、住民同士が繋がるきっかけをつくる「芳川いきいきプロジェクト」です。芳川まるっと青空市や家族紹介カードなど大学生の提案をメンバーで検討、実施しました。今年度は昨年度の活動を検証しながら、新たな提案も検討します。

2つ目は、道具探しから始まり、栽培、箒づくりと一連の作業を行い、継承者育成を目指す「野溝箒プロジェクト」です。

2つのプロジェクトは、活発な提案や意見交換があり、活気に満ちています。

Q 若い皆さんと話し合いをする中で感じることは？
A 素晴らしい発想があり、地域のことにも真摯に取り組んでくれます。若い世代が時間とれない中でも、考えを発信しやすくすることが課題です。

Q 芳川地区の皆さんに一言
A 「地域づくり」や「人との繋がり」は、遊び心も大切だと考えています。ぜひ、わくわくするような活動のご提案を地域づくりセンターへお寄せください。また、2つのプロジェクトにご興味ある方のご連絡、お待ちしております！



芳川いきいきプロジェクトのメンバー

お知らせ 2つの Instagram のフォローもお願いします。
 芳川地域づくり協力隊 芳川いきいきプロジェクト で検索!

地区生活支援員 吉澤さんへ インタビュー



生活支援員
吉澤 奈津美 さん

Q 地区生活支援員のお仕事は？
A 高齢になっても、住み慣れた地域で暮らし続けるため、困りごとの解決策と一緒に考え、生きがい活動の場を住民の皆さんや関係機関とともに作り上げます。

Q たとえば？
A ゴミ出しや買い物など困難なことを、地域の助け合い活動や有償ボランティア等につなげるお手伝いをしていきます。

Q 相談はどこでできますか？
A 芳川地区地域づくりセンターでできます。事前にご連絡ください。

Q どんなことをしたいですか？
A 町内公民館でのサロン(体操・お茶会)で、地域住民による、ゆるやかな見守り活動の場を作りたいです。また、災害時に役立つ「ささえあいマップ」の製作を進めます。

Q 地区の皆さんに一言
A 横の繋がりを大切に、地域づくりを目指しています。お気軽にお声かけください。(緑の自転車地区をまわっています！)

芳川の今昔物語

村田 正幸

第38話



ケ村用水が今後益々芳しくなる」との想いを込めて「芳川」と名付けられました。

昭和29(1954)年8月1日松本市に合併し、松本市大字芳川○○となりました。その後人口増加に伴い美芳町、長丘町、北原町、木工町が誕生しています。

芳川の成り立ちと四ヶ堰 〜四ヶ村用水で 結ばれてきた 芳川の歴史〜

芳川は、江戸時代の後半、四ヶ村(村井町村、小屋村、野溝村、平田村)は、松本藩の高出組14ヶ村の内の4ヶ村でした。

明治元(1868)年4月から5月にかけて、約1ヶ月間降り続いた大雨で奈良井川は大洪水となり、江戸時代から使われていた旧四ヶ村堰は流失してしまいました。

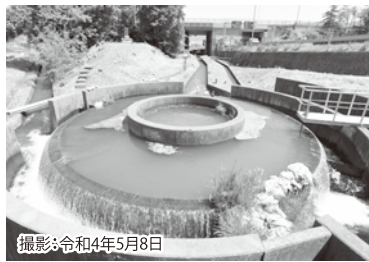
明治2(1869)年に平田村名主の百瀬三七翁が新堰開削



撮影:昭和8年頃



撮影:昭和9年 竣工記念



撮影:令和4年5月8日

を計画し、多くの問題を解決しながら、明治5(1872)年に現在の四ヶ堰が完成しました。その流路は改修されながら、現在も変わっていません。

四区分水場は板張りの大土居でしたが、昭和9(1934)年にサイフォン式の円筒分水に改修され、さらに昭和60(1985)年に大改修されて現在に至っています。

町村制の施行による明治の太合併で、明治22(1889)年4月1日に芳川村が誕生しました。四つの村は四ヶ堰用水を基に「四

村井駅舎建築中 Vol.2



3月1日、駅本体工事の起工式が行われ、本格的な建設工事が始まっている村井駅。竣工は令和6年の秋を予定。着々と進む駅舎工事と移り変わる駅周辺をシリーズでお知らせします。



芳川キャラクター: シカセギン

ら消え、現在芳川の名前は地区、出張所、公民館、小学校、JA支所等に残るだけです。

地名が住所から芳川の名前は地区、出張所、公民館、小学校、JA支所等に

芳川地区 地域づくりセンターの リニューアルです!



地域づくりセンター長補佐 吉澤 拓

地域づくりセンター 征矢 紘子

どうぞお気軽にお声をかけてください。よろしくお願ひします。

令和4年度芳川公民館 館報編集委員

- | | | |
|-------|-------|-----|
| 委員長 | 山本 京美 | 北原町 |
| 副委員長 | 新海 貴士 | 木工 |
| 編集委員 | 宮島 義和 | 村井町 |
| | 上條 淳司 | 小屋 |
| | 小松 浩康 | 野溝 |
| | 中尾 正和 | 平田 |
| | 開出 知之 | 美芳町 |
| | 高田 敬介 | 長丘町 |
| 館長推薦 | 村田 正幸 | 野溝 |
| | 吉井 幹一 | 平田 |
| 公民館長 | 柏澤 由紀 | 平田 |
| 公民館主事 | 北原 将年 | 平田 |



たちはなし

ここ数年、私の周りでは、60歳の定年退職前に、50代で選択定年をされる方が増えていきます。残りの人生を会社勤めに生きているのではなく、昔からの夢や、これ

から本当にしたいことを実現するために退職しています。お一人は、沖繩の自然や文化に魅了され、沖繩のことを長野県の皆さんに知って頂きたいと沖繩料理店を営んでいます。また料理だけでなく、三線を学び、今やプロ並みに弾きこなし、自分のお店や催事場でミニライブも開催しています。最近では、コロナ禍で、待っていてもお客様が来ないので、デリバリー車を運転し、お弁当を配達・販売しています。もう一人の方は、昔から肉料理が好きで、焼肉屋さんで一から修行をし、パン作りが得意な奥様と、自宅を改装してお店を開きたいという夢を叶えるために頑張っています。心からやりたいことがある人は、何歳からでも驚くほどの行動力を発揮して生きいきしています。何もしたことがない平凡な私にとっては、羨ましく眩しい限りです。私も心から打ち込める「何か」を見つけたらいいのですが…。今は、12歳の犬と毎日を生きるので精一杯の様です。

視点

⑥ 銭湯を支える若者たち
信州大学
銭湯サークル

響く若者の声

営業が終了した後の銭湯に、タイルを擦る音と、学生たちの声が響きます。信州大学銭湯サークルは、週二回松本市内の銭湯でお風呂掃除、まき割りなどを手伝う活動を行っています。

「若者の力で銭湯業界を盛り上げたい」と、銭湯サークルの志澤啓公しずわ けいこうさんは言います。松本の銭湯は最盛期であった昭和四十八年頃には四八軒もの銭湯がありました。現在、

八つの銭湯が営業を続けています。経営者の高齢化や施設の老朽化など多くの銭湯が経営危機に直面しているのが現状です。

お風呂同好会は数多くありますが、実際にお風呂掃除を手伝う活動は、全国的に珍しいそうです。信州大学銭湯サークルに感化され、京都大学の銭湯サークルがお風呂掃除の活動を始めるなど、松本から波及した取り組みが広がっています。



大正ロマンの富士の湯

住民と若者が残す

かつて住民たちの社交場であり、子どもたちがマナーを学ぶ社会教育の場でもあった銭湯。志澤さんは「常連の地域住民など、さまざまな世代の人と一つの場所と同じ時間を共有できることが一番の魅力」だと語り、「銭湯サークルがすごいのではない。現在まで続く銭湯をもっと取り上げて、町全体で残してほしい。しかし、若い世代が来ないと経営は厳しい」と訴えます。

銭湯は敷居が高いと感じる若者は少なくありません。スランプリリーや空きスペースを使ったイベントなどを企画中です。若者だけでなく全ての人が入りやすい銭湯づくり

に取り組みます。

銭湯サークルの若者を通じて、価値ある場所を見つめ直す。そして地域の方々へ声を届ける。それに人々が応えて銭湯へ足を伸ばす。このような循環が、若者を中心として起こっています。

銭湯を訪れ、身も心も温めながら、松本の銭湯を見つめ直してみませんか。



まきで沸かす駒形の湯

写真でつづる
まつもと今昔⑤8

～ 光の回廊 ～



(撮影：2018.4.4)

ライトアップされた外堀通りの桜並木。歩道いっぱいに広がる満開の桜を求めて、たくさんの方が集まって来た。待ちわびた春の到来を喜び、夜になっても花見を楽しむ賑わいがあった。



(撮影：2022.4.11)

わずか4年後の今年。木が衰えたためか、枯れた枝は伐採され少なくなっている。密集して咲いていた花も数が減り、隙間が目立つ。歩道に覆いかぶさるように咲き誇っていた花の枝はもう無い。

おこひる

妻からクリスマスにワイルドストロベリー鉢植えをプレゼントされた。明るい窓辺に置いたが、なかなか大きくならず葉も茎も小ぶりで心配▼水やりやイチゴ専用の腐葉土に入れ替え、冬になるとストープで夜も暖かくした。この頃には、水やりもその日の状態で調整するなど、私の毎朝の日課となった▼春先になると見ちがえるように大きく茂り可憐な白い小さな花が咲いた。朝日に透ける鮮やかな緑葉とのコントラストに、思わずカメラに収めた。しばらくすると花びらの下から小さな薄黄緑のイチゴが顔を覗かせ、妻と「あつイチゴの形をしている」と感動。次から次と花が咲き、見応えある大きな花束のようになった▼遂に真っ赤なイチゴが実った。小さな初物は、しっかりとイチゴ味がして感動。最近、朝のヨーグルトにちよこんとイチゴが添えられて、甘酸っぱい春を満喫している▼いつの間にか我が家には、バジル、アボカド、コーヒール菜園を楽しんでいる。

歴史探訪 探ろう松本28

市内最多の11の学校を有する 安原地区

古くは浅葉野の地名でした(信濃地名考) 武家屋敷や信大病院などの他に水田なども点在します

概要

松本城の北東部にある安原地区は人口4,555人、2,265世帯で、最多の1,800人を有する元原町会から52人の中ノ丁町会まで、11町会の規模は多様です。

桐原分・松本分といわれた元原中原の街並みもあります。昨年武家屋敷の街並みの指定を受けた下級武士の橋倉家などを含む住宅なども保存されています。

安原地区歴史研究会の格好の教材です。旧松本50連隊跡



があり、信大キャンパス内などに遺構を見る事ができます。

さまざまな住民の活動

福祉ひろば主催の月一回の「お茶カフェあさばの」や、学区を分けての子ども会育成会事業、地域テキストの作成など活動の盛んな安原地区です。

地区最大のイベントは「あさば野 実りの音楽フェスタ」です。保育園から大学まで、地区内11校のうち、前回は8校の児童生徒約600人が参加した一日がかりの行事です。ジャズ・アニメ・演歌・吹奏楽など、バラエティに富んだ内容です。残念ながらコロナ禍で2年間中止を余儀なくされていますが、住民からは再開の声が根強くあります。

空き家活用ロケット

近年問題になっている空き家を活用し、学生と社会人の枠を超えた異世界プロジェクトと銘打ち活動をしていま

す。アナログゲーム・ご飯会・仕事ラボ・季節のイベントなどを信大生が中心となり平成28年(2016年)から、活動を続けています。



音楽祭

今後の課題

江戸時代に女鳥羽川の氾濫の被害があったのみで、大きな被災のない安原地区では、逆に防災に対する意識が薄いのが課題になっています。3ヶ所の避難所を拠点とし、地区内の学校施設なども活用しながら、今後は地区を挙げて防災に取り組む体制をさらに充実してゆく安原地区です。



空き家プロジェクト

松本平の野鳥たち

ミンサザイ (撮影: 2022.4.8 安曇野市)

スズメより小さく、クイタダキやエナガとともに小さな野鳥の代表。夏山に住み、冬はふもとに移動することが多く、昆虫などを食べる。小柄な割に大きな声でさえずり、松本地方では「ミソツチヨ」の愛称で親しまれている。

まつもと散歩

澄み渡る空の向こうに
広がる大きな未来
こどもの日光の中で

(撮影: 2022.5.5 女鳥羽川・千歳橋)